

VOC処理技術分野（中小事業所向けVOC処理技術）
の進捗状況及び来年度の方針について

1. 平成20年度の事業報告

(1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

20年 5月13日	第1回WG開催 (中小事業場向けVOC処理技術実証試験要領（第1版）の検討及び実証機関の公募・募集に関する検討等)
7月 18日	第2回WG開催 (実証機関の選定について、今後の進め方について)
21年 2月 5日	拡大WG開催 (環境技術実証事業の概要について、事業や対象技術への意見募集について、実証試験要領の見直し方向性について)

(WG検討員名簿は別紙参照)

(2) 実証試験状況等

実証運営機関：財団法人日本環境衛生センター

○ 実証機関の公募を行い、下記1機関を今年度の実証機関として選定した。

実証機関：財団法人東京都環境整備公社

中核となる機関名：東京都環境科学研究所

実証対象技術：なし

2. 来年度の方針

〔課題〕

○実証件数が今年度はゼロ件となっており、継続にあたっては、事業者メリットの拡大が不可欠。

〔改善策〕

以下の5つの改善策を順次実施していく予定。

- ①分野の拡大（VOC 排出抑制技術・脱臭対策）
- ②実証現場の提供（印刷関係）
- ③ユーザーへの情報力の強化（特に印刷関係、塗装関係）
- ④模擬ガスでの実証の検討（塗装関係）
- ⑤他の事業と有機的な連携

※①～③については来年度から実施。④、⑤については来年度可能かどうか見極めながら実施

<今後の予定>

○実証運営機関の選定（4月上旬）

○実証機関の公募（5月）

平成20年度環境技術実証事業検討会

VOC処理技術分野ワーキンググループ 検討員名簿

(敬称略)

岩崎 好陽 (社)におい・かおり環境協会 会長

尾形 敦 (独)産業技術総合研究所環境管理技術研究部門
励起化学研究グループ長

◎坂本 和彦 埼玉大学大学院理工学研究科 教授

土井 潤一 日本産業洗浄協議会 理事

中杉 修身 上智大学大学院 地球環境学研究科 教授

保坂 幸尚 東京都環境局環境改善部化学物質対策課 課長

本田 城二 共同印刷株式会社 環境管理部 部長

◎:座長